



2026年3月期決算説明会資料

株式会社 学究社

東証プライム

[証券コード：9769]



2026年6月4日

- I 事業の概要
- II 決算概要
- III 業績予想
- IV 当社の強み
- V トピックス
- VI 中期経営計画 進捗状況
(2026年3月期－2028年3月期)

I 事業の概要

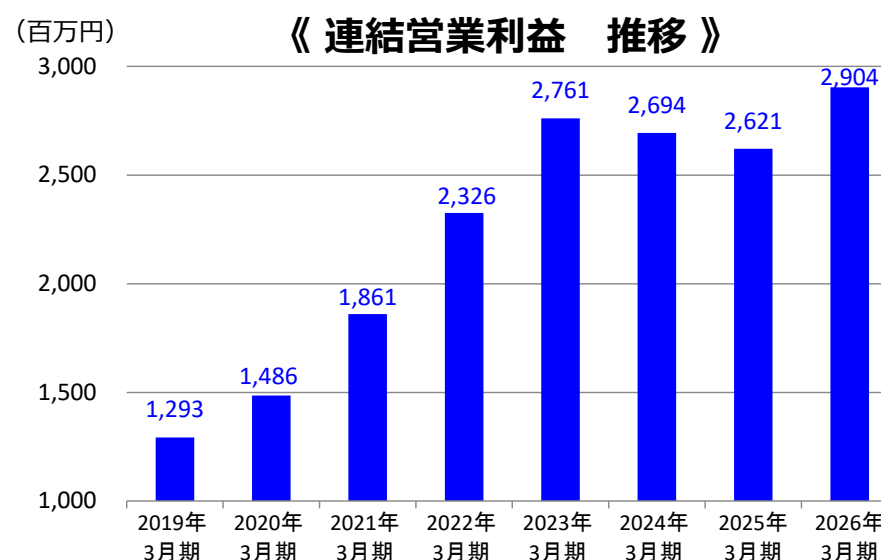
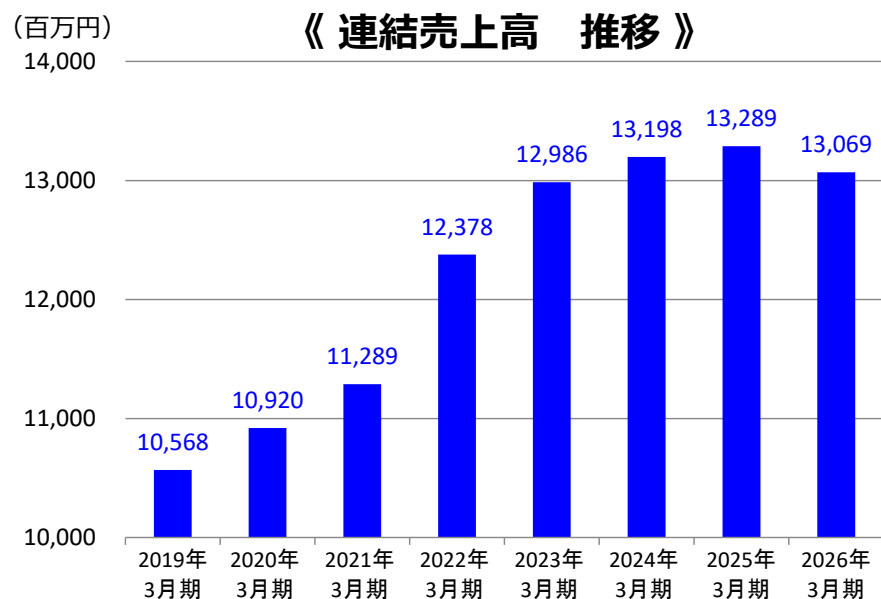
1. 54年の歩み

54年前、生徒5名の学習塾から始まった学究社は「人間尊重」を第一に成長してきた。

- 1972年 東京都国立市に「国立学院」創立
- 1976年 株式会社学究社設立
- 1985年 業界初の株式公開
- 1987年 ニューヨーク校開校
- 2015年 東京証券取引所市場第一部指定
- 2021年 TOKIO国立タワー完成
- 2022年 東京証券取引所プライム市場移行
創業50周年記念パーティー挙行



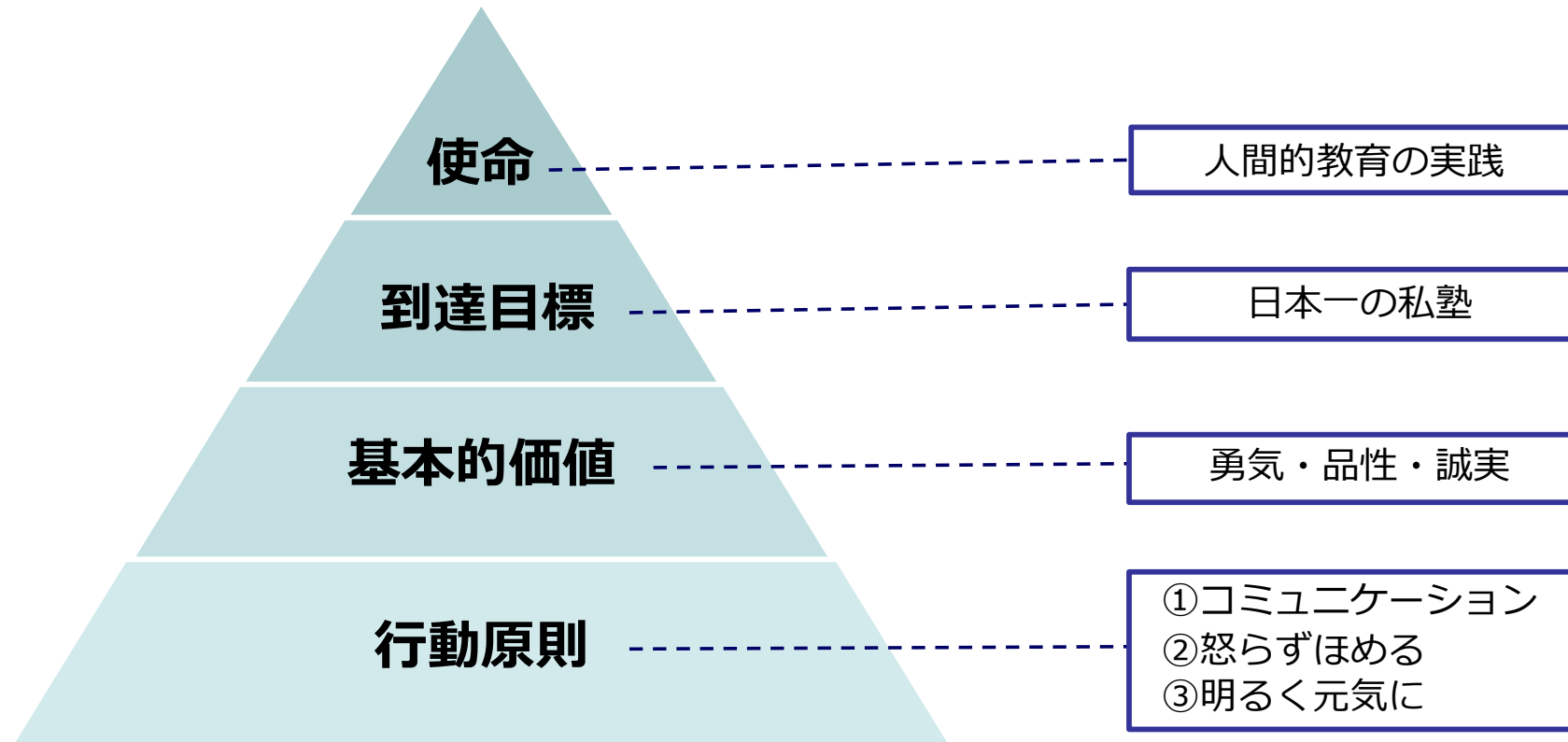
渋谷大学受験部にて 河端学院長と生徒たち



2. 事業の概要



3. 学究社グループ経営理念



Ⅱ 決算概要




2026年度 中学入試合格実績

東京都










都立中

小石川中	98名合格 
<small>当塾史上最高合格者数を更新!!</small>	
桜修館中	93名合格 
<small>当塾史上最高合格者数を更新!!</small>	
白鷗高附属中	113名合格 
<small>昨年に続き当塾史上最高合格者数を記録!</small>	
大泉高附属中	117名合格 
武蔵高附属中	104名合格 
両国高附属中	94名合格 
立川国際中	100名合格 
南多摩中	112名合格 
三鷹中	85名合格 
富士高附属中	102名合格 
九段中	79名合格 

国立中

お茶の水女子大附属中	15名合格 
<small>(昨年12名合格)</small>	
東京大学教育学部附属中	36名合格 
<small>(昨年32名合格)</small>	
東京学芸大附属国際中	30名合格 
<small>(昨年22名合格)</small>	

私立中

開成中	2名合格 
<small>(昨年2名合格)</small>	
早稲田実業中	1名合格 
<small>(昨年2名合格)</small>	
駒場東邦中	3名合格 
<small>(昨年1名合格)</small>	
海城中	8名合格 
<small>(昨年9名合格)</small>	
吉祥女子中	7名合格 
<small>(昨年2名合格)</small>	
白百合学園中	7名合格 
<small>(昨年7名合格)</small>	
巣鴨中	4名合格 
<small>(昨年4名合格)</small>	
頌栄女子学院中	20名合格 
<small>(昨年18名合格)</small>	
中央大学附属中	4名合格 
<small>(昨年5名合格)</small>	

※他、公立中、私立中、有名校多数合格

2026年度 高校入試合格実績

東京都

都立高

日比谷高 (昨年度東大81名合格 公立高全国No.1)	71名合格	No.2 (募集定員317名)
西高	52名合格	No.2 (募集定員316名)
国立高	62名合格	No.2 (募集定員316名)
戸山高	59名合格	No.2 (募集定員316名)
青山高	54名合格	No.1 (募集定員277名)
立川高	43名合格	No.1 (募集定員316名)
八王子東高	36名合格	No.2 (募集定員316名)
新宿高	50名合格	No.1 (募集定員316名)
国分寺高	40名合格	No.1 (募集定員316名)
国際高	19名合格	No.2 (募集定員225名)

国立高

筑波大学附属高	13名合格	(昨年6名合格 前年比216.7%)
筑波大学附属駒場高	2名合格	(昨年0名合格)
お茶の水女子大学附属高	7名合格	(昨年7名合格 前年比100%)
東京学芸大学附属高	10名合格	(昨年8名合格 前年比125.0%)

私立高

早稲田実業高	32名合格	(昨年20名合格 前年比160.0%)
青山学院高	23名合格	(昨年22名合格 前年比104.5%)
慶應義塾女子高	7名合格	(昨年5名合格 前年比140.0%)

※他、私立高、有名校多数合格

2026年度 看護医療系・美大系合格実績

医療系大学

歯学系大学 **4名合格**
(東京科学大学、東京歯科大学 他)

薬学系大学 **23名合格**
(千葉大学、慶應義塾大学、東京理科大学 他)

国公立大学 **104名合格**

難関私立11大学 **468名合格**
慶應義塾大学 18名
聖路加国際大学 37名
杏林大学 80名
日本赤十字看護大学 65名 他

芸大・美大

芸大・美大総合格者数 **1,215名合格**

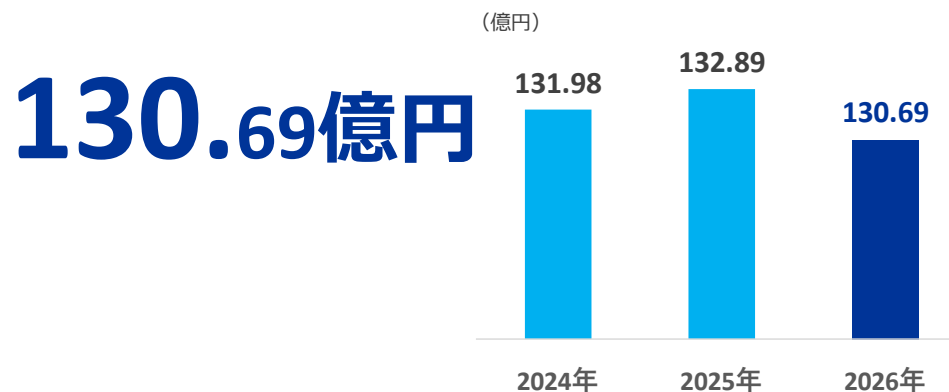
東京藝術大学 **29名合格**
絵画科油画専攻 14名
先端芸術表現科 5名 他

多摩美術大学 **424名合格**
グラフィックデザイン学科 81名
絵画学科油画・版画 91名
総合デザイン学科 78名 他

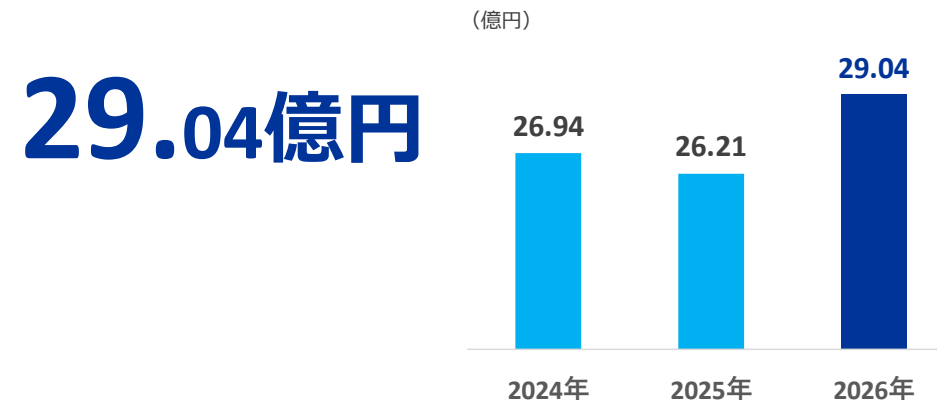
武蔵野美術大学 **343名合格**
油絵学科 65名
視覚伝達デザイン学科 58名
基礎デザイン学科 61名 他

※他、私立大学、有名校多数合格

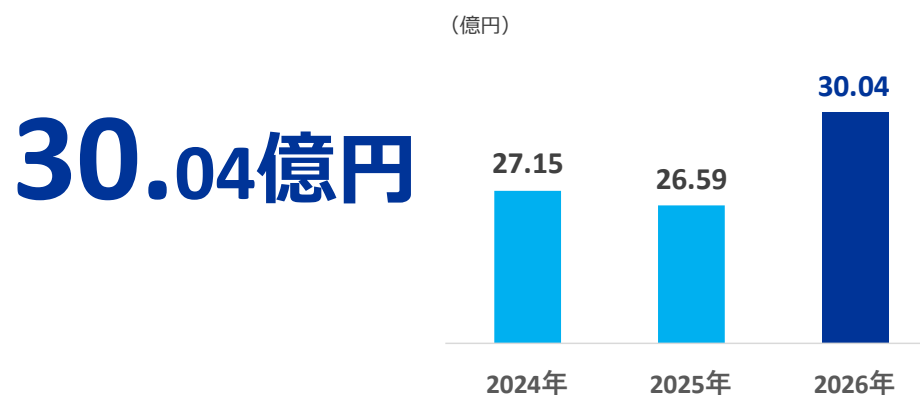
売上高



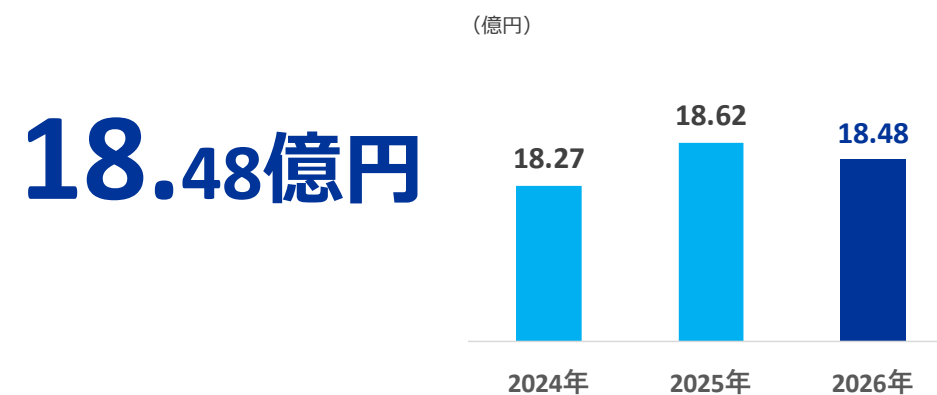
営業利益



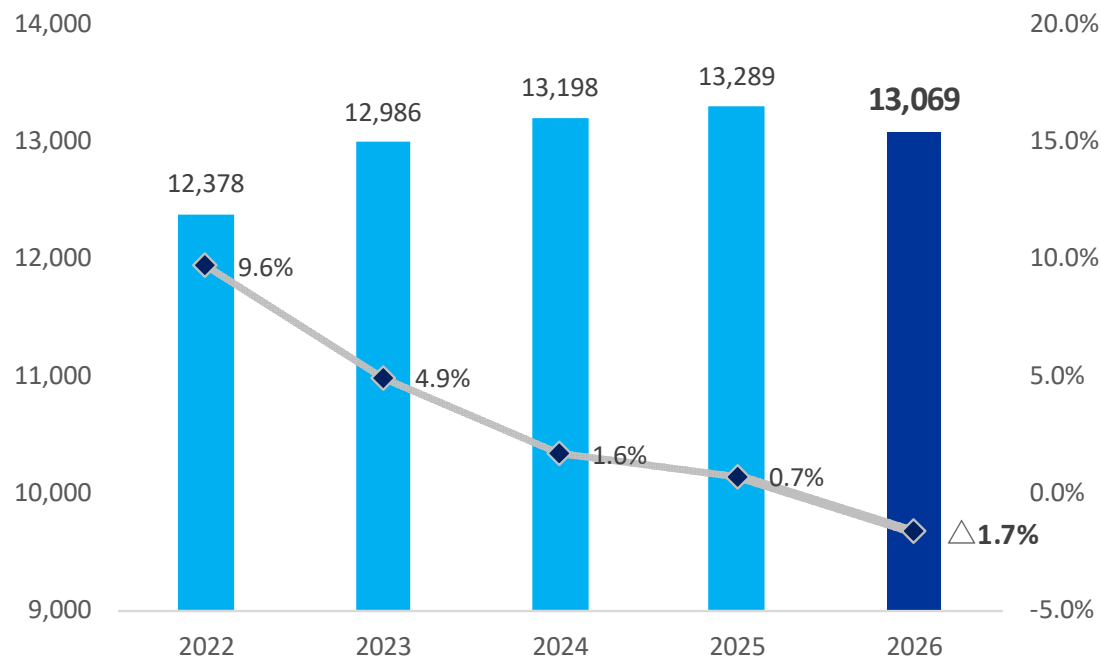
経常利益



親会社株主に帰属する 当期純利益



連結売上高（百万円）と売上高成長率（%）



減収

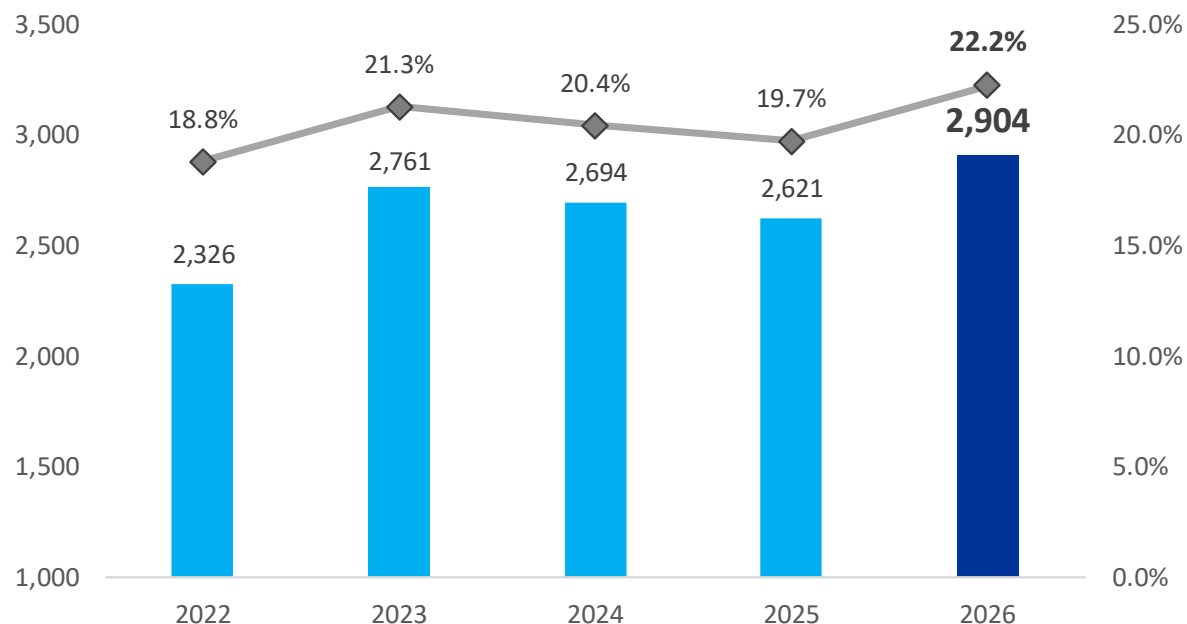
- ・東京都による私立高校授業料の实质無償化拡充の影響もあり、当社の強みとする都立中・都立高を目指す生徒数が減少。
- ・夏期合宿について、従来の5泊6日を10泊11日へ変更し、さらに22泊23日の長期合宿を新設。続く冬期においても、13泊14日の長期合宿を実施し、いずれも多数の生徒が参加し、収益拡大に貢献。

→売上高は前年同期と比較して減少。

△ **2.20** 億円

△ **1.7** % 売上高成長率

連結営業利益（百万円）と営業利益率（%）



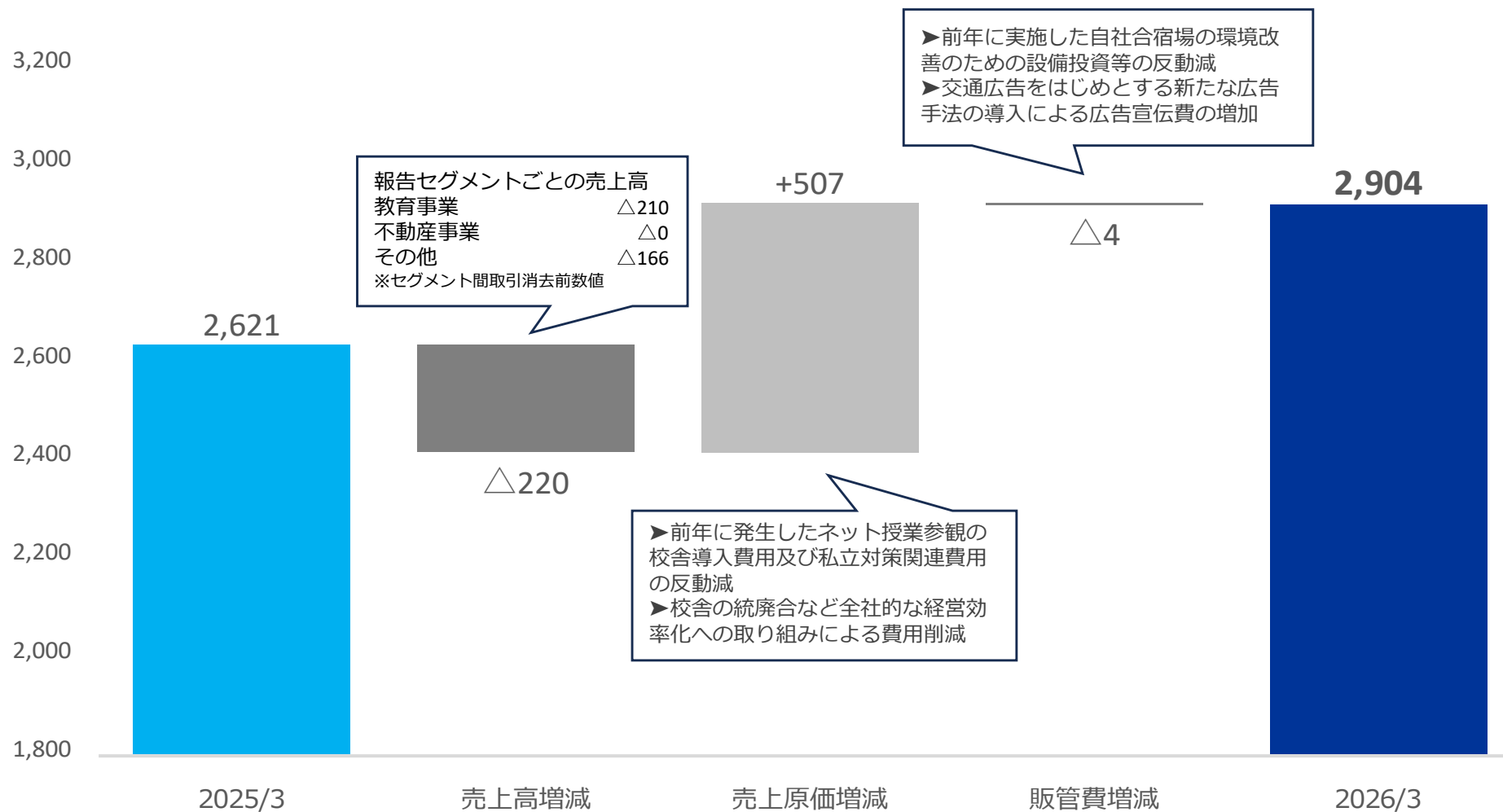

増益

+ 2.82 億円

+ 10.8% 前年同期比

- ・ 交通広告をはじめとする新たな広告手法の導入による広告宣伝費の増加。
 - ・ 季節講習における合宿の拡充に伴う運営費用の増加。
 - ・ 利益率の高い夏期合宿や冬期合宿を含む季節講習売上が伸長し収益性向上に貢献。
 - ・ 前年度に実施した校舎及び合宿場の環境改善に伴う一時的な費用の剥落。
 - ・ 校舎の統廃合を機動的に進めるなど全社的な経営効率化への取り組みによる費用削減。
- 売上高の減少を上回る営業費用減少の結果、営業利益は前年同期と比較して増加。

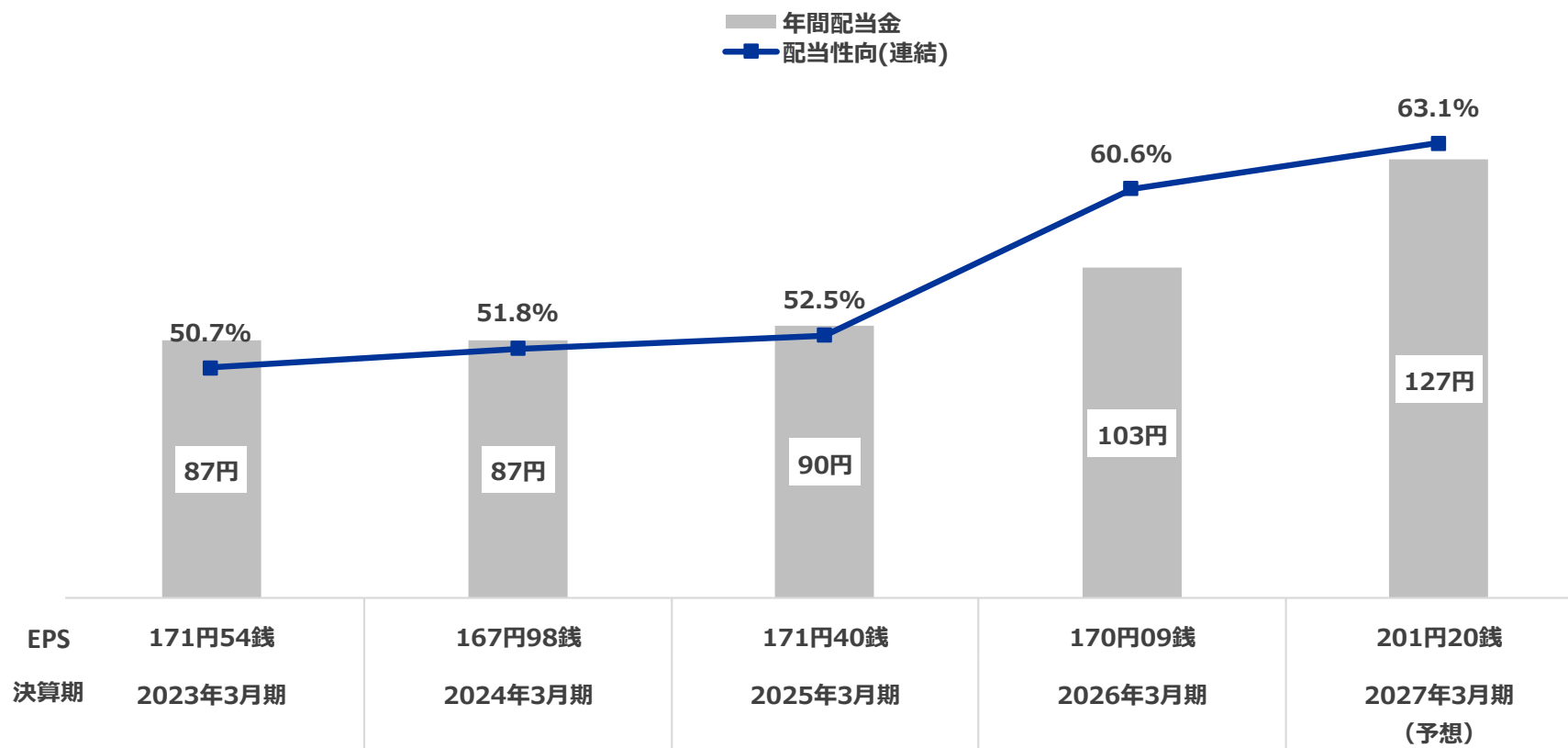
連結営業利益（百万円）の増減分析



2026年3月期 貸借対照表 決算ハイライト

（単位：百万円、％）

	2025年3月期末		2026年3月期末			主な増減要因
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	
流動資産	3,517	28.9	3,787	30.1	269	【流動資産】 現金及び預金の増加 その他（流動資産）の減少
固定資産	8,638	71.1	8,778	69.9	140	【固定資産】 投資有価証券の増加 建物及び構築物、差入保証金の減少
資産合計	12,156	100.0	12,566	100.0	409	
流動負債	2,844	23.4	2,673	21.3	△171	【流動負債】 前受金の減少
固定負債	1,973	16.2	1,718	13.7	△255	【固定負債】 長期借入金、リース債務の減少
負債合計	4,818	39.6	4,391	35.0	△426	
純資産合計	7,338	60.4	8,174	65.0	836	配当金の支払い 親会社株主に帰属する当期純利益の計上
負債・純資産合計	12,156	100.0	12,566	100.0	409	



利益配分の基本方針

株主様に対する利益還元を経営の重要課題として位置付けるとともに、今後の収益力向上のための内部留保による企業体質の強化を図りながら、業績に対応した成果の配分を行うことを基本方針としております。

2027年3月期の1株当たりの年間配当金につきましては、前期の103円から24円増配し、1株当たり127円（うち、中間配当金62円）とさせていただきます。

Ⅲ 業績予想

業績予想 2027年3月期

(単位：百万円、%)

	2026年3月期	2027年3月期予想		当年比	
	金額	金額	売上比	増減額	増減率
売上高	13,069	14,656	100.0	1,587	12.1
営業利益	2,904	3,235	22.1	331	11.4
経常利益	3,004	3,240	22.1	235	7.8
親会社株式に帰属する 当期純利益	1,848	2,186	14.9	338	18.3
1株当たり 当期純利益 (円)	170.09	201.20		31.11	18.3

※ 本業績予想は、2025年3月公表の中期経営計画における2027年3月期の計画値から変更はありません。

**都立中・都立高受験に加え、私立中・私立高受験への対応を強化。
最難関私国立中受験専門塾「極」の開校、オリジナルテキスト「EXE」の開発、
小学部全校舎への都私立コースの設置、中学部における「ena最高水準」設置校舎の拡大など、
体制整備を着実に進め、「都立のena」から「都立も私立も合格できるena」への進化を加速。**

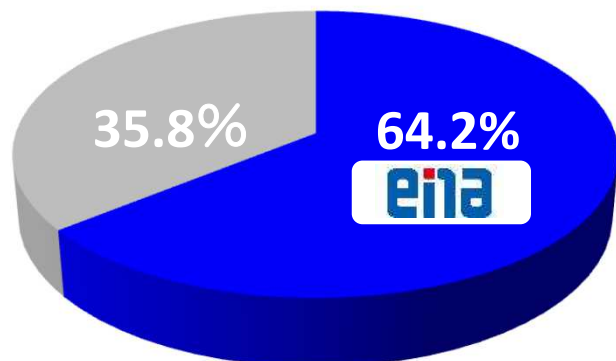
IV 当社の強み

1. 「都立中高一貫校・都立難関高」合格実績No.1

enaは都立中高受験の市場をいち早く開拓。**中学受験では都立中高一貫校11校で合格実績64.2%を占有。高校受験では東京都教育委員会の指定する都立進学指導重点校7校でNo.1の合格実績を有し、他社との差別化を実現。**

中学受験

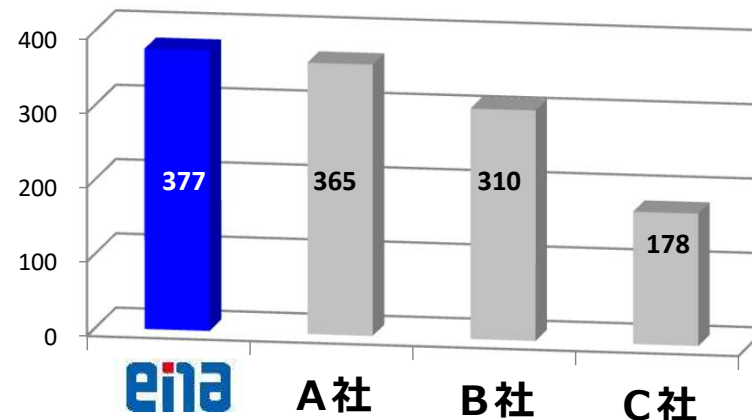
《 2026年度 都立中高一貫校 合格者 占有率 》



(募集定員1,710名 受験者数5,591名)

高校受験

《 2026年度 進学指導重点校 合格者数 他社比較 》



2. 合格実績を生み出す圧倒的な対策とノウハウ

enaでは**他塾にはない独自のノウハウを駆使した指導**を実践。オリジナル教材、合格判定模試、受験情報など、enaだからこそ収集できる膨大なデータに基づく対策で、**都立中では15年連続、都立高進学指導重点校では10年連続で合格実績No.1**となっている。

オリジナル教材



enaワーク

PERSPECTIVE

受験情報



受験講演会

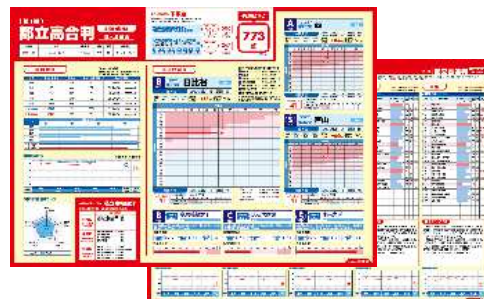


受験資料

合格判定模試



都立中合判



都立高合判

3. 映像・オンライン化の積極的な推進

コロナ禍を機に従来より進めてきた映像授業やオンライン化を加速。

いつもの校舎でいつもの教師による『対面授業』と、**全校から選抜された教師によるいつでも繰り返し視聴可能な『単方向映像授業』**を組み合わせた『**ダブル学習システム**』を**全学年全科目で完備**。

単方向映像授業は**対面授業欠席の場合も、いつでもどこでも視聴可能。全ての模試の解説動画も配信**。

また「enaオンラインclass」「家庭教師Camp」「ena看護オンライン」の3つのコースを「自宅ena」とし、今後も積極的にオンライン化を加速させる。



本社撮影スタジオ（一部）

enaはダブル学習システム

対面
授業

いつもの教室で、
いつもの教師陣が
授業を行う。



単方向
映像
授業

対面授業の復習に最適な、
完全無料の
映像授業。



4. 自社保有施設

清里合宿場1・2・3・5号館（約14,000坪）・清里合宿場6号館（約10,000坪）・富士山合宿場1号館（約9,000坪）・富士山合宿場2号館（約6,500坪）・富士山合宿場3号館（約11,500坪）で1度の合宿で同時に合計約2,000名を収容可能。

また、運用資産たるTOKIO久米川タワー、TOKIO国立タワー等の自社物件により安定した収益を確保。その他にも複数の自社物件を保有。



代々木本社



清里合宿場 3号館



富士山合宿場 1号館



富士山合宿場 2号館



清里合宿場 6号館



富士山合宿場 3号館



TOKIO久米川タワー



TOKIO国立タワー

V トピックス

清里エリアに、約300名を収容可能な新たな合宿施設「清里合宿場 6号館」を開設した。

～2026年度夏期合宿より運用開始～



「富士山合宿場 3号館」のベッドを増床し
最大収容人数が800名に拡充した。



2026年度春期講習会において、新小6生・新中3生を対象とした必勝合宿、新中2生を対象とした英語漬け合宿を11泊12日で実施した。



授業の様子



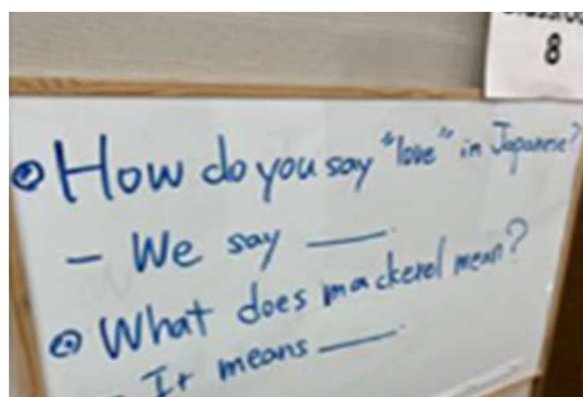
授業の様子



特別イベント



中2英語漬け合宿の様子



中2英語漬け合宿の様子



中2英語漬け合宿の様子

2026年度は昨年同様小6生・中3生を対象とした22泊23日必勝合宿に加え、34泊35日必勝合宿、さらに中2生を対象とした22泊23日英語漬け合宿を実施する。



昨年度の様子：開講式



昨年度の様子：授業



昨年度の様子：授業



昨年度の様子：
小6・中3ともに作った団結旗



昨年度の様子：
特別イベントの夏祭り昼食



昨年度の様子：
特別イベントの夏祭り昼食

VI 中期経営計画 進捗状況

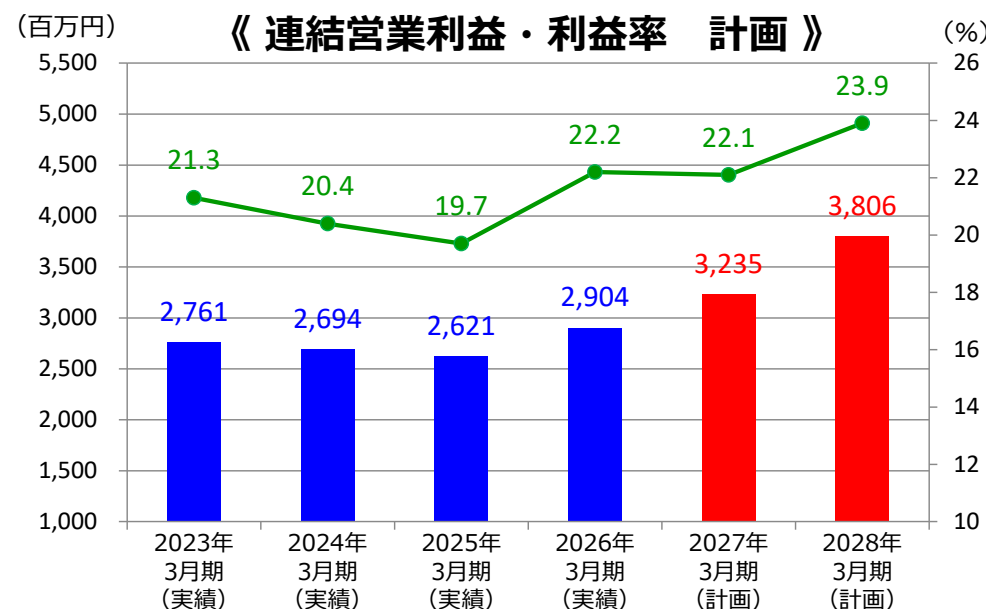
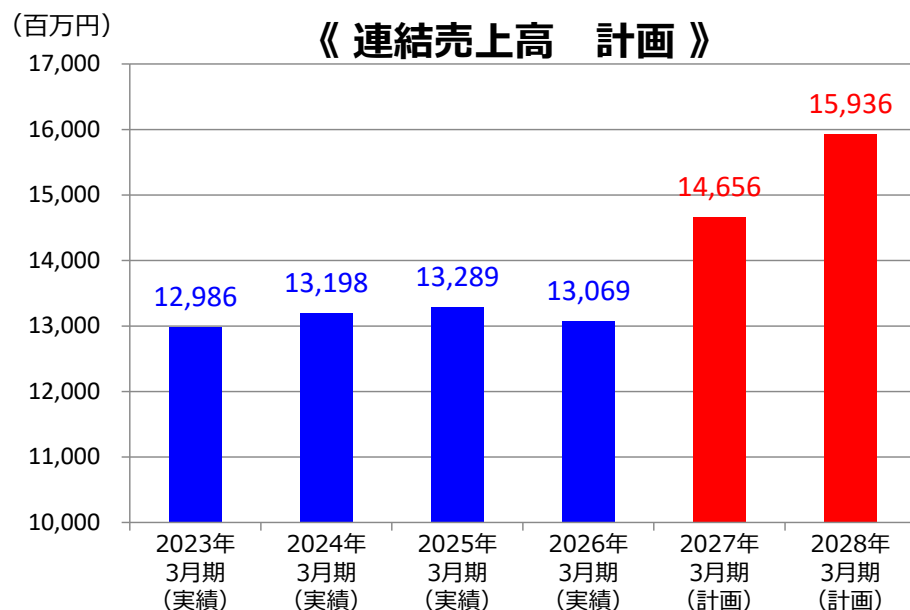
(2026年3月期 - 2028年3月期)

VI-1 売上計画・利益計画

1. 連結計画

単位：百万円

	2023年3月期 (実績)	2024年3月期 (実績)	2025年3月期 (実績)	2026年3月期 (実績)	2027年3月期 (計画)	2028年3月期 (計画)
売上高	12,986	13,198	13,289	13,069	14,656	15,936
営業利益	2,761	2,694	2,621	2,904	3,235	3,806
利益率	21.3%	20.4%	19.7%	22.2%	22.1%	23.9%
経常利益	2,789	2,715	2,659	3,004	3,240	3,812



2. 部門ごとの計画

小中	2023年3月期 (実績)	2024年3月期 (実績)	2025年3月期 (実績)	2026年3月期 (実績)	2027年3月期 (計画)	2028年3月期 (計画)
売上高	9,076	9,333	9,369	9,355	10,356	11,175
営業利益	2,305	2,247	2,003	2,297	2,511	2,944
利益率	25.4%	24.1%	21.4%	24.6%	24.2%	26.3%

単位：
百万円

大受	2023年3月期 (実績)	2024年3月期 (実績)	2025年3月期 (実績)	2026年3月期 (実績)	2027年3月期 (計画)	2028年3月期 (計画)
売上高	1,496	1,459	1,574	1,536	1,857	1,962
営業利益	199	134	248	299	345	355
利益率	13.4%	9.2%	15.8%	19.5%	18.6%	18.1%

個別	2023年3月期 (実績)	2024年3月期 (実績)	2025年3月期 (実績)	2026年3月期 (実績)	2027年3月期 (計画)	2028年3月期 (計画)
売上高	888	812	707	495	781	880
営業利益	90	92	86	61	120	146
利益率	10.2%	11.4%	12.3%	12.3%	15.4%	16.7%

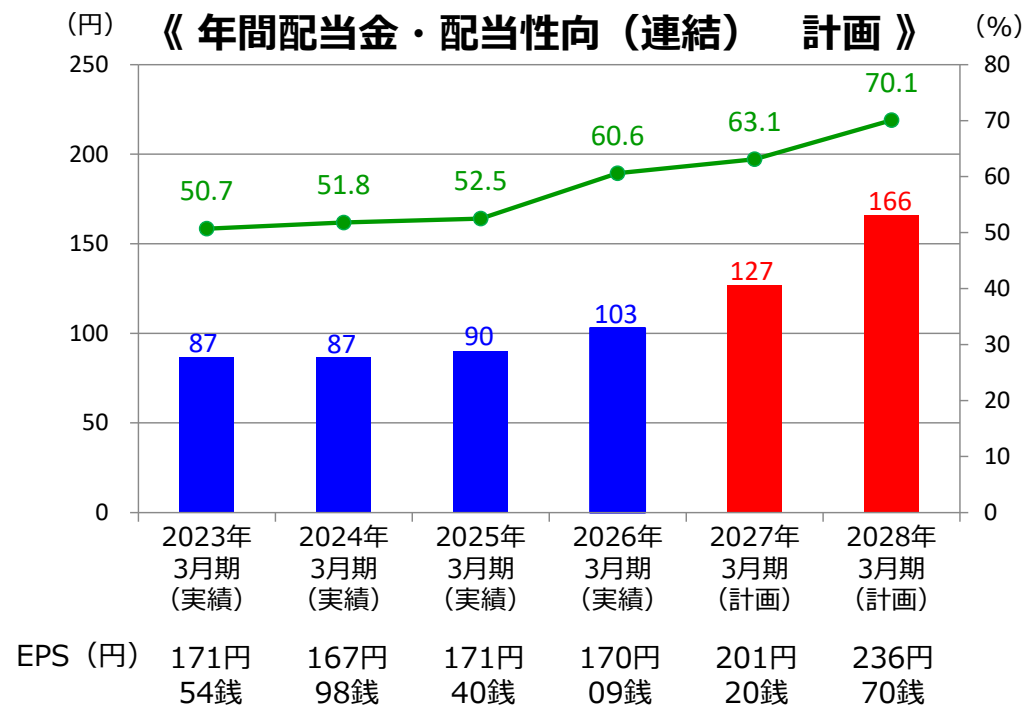
他部門	2023年3月期 (実績)	2024年3月期 (実績)	2025年3月期 (実績)	2026年3月期 (実績)	2027年3月期 (計画)	2028年3月期 (計画)
売上高	1,525	1,593	1,637	1,681	1,660	1,918
営業利益	165	219	281	246	258	360
利益率	10.8%	13.8%	17.2%	14.6%	15.5%	18.8%

VI-2 株主還元

1. 利益配分の基本方針

株主様に対する利益還元を経営の重要課題として位置付けるとともに、今後の収益力向上のための内部留保による企業体質の強化を図りながら、業績に対応した成果の配分を行うことを基本方針としております。

**2025年3月期の配当性向52.5%であるものを、
2026年3月期 配当性向60.6%（実績）
2027年3月期 配当性向63.1%
2028年3月期 配当性向70.1%
と引き上げる計画**です。



2. 株主優待制度

2025年3月期より再開した株主優待制度について、QUOカードを優待品目としておりましたが、2026年3月期より株主の皆様への利便性向上を目的に、AmazonギフトカードやPayPayマネーライトなどご希望に応じて選択できる株式会社デジタルプラスが提供する**デジタルギフト®に優待品目を変更**することといたしました。

株主優待制度の変更の内容については、2026年3月19日公表の「株主優待制度の一部変更に関するお知らせ」をご覧ください。

VI-3 成長戦略

1. 千葉県・埼玉県への進出

enaは都内に170校を展開し、都立中高一貫校と都立進学指導重点校で数年来No.1の合格実績を継続している。
今後は千葉県、埼玉県への進出を決定し、すでに開校している埼玉県・千葉県の6校の他にも続々と校舎を開校させる。



ena柏
(2024年10月開校)



ena我孫子
(2025年2月開校)



ena南柏
(2025年3月開校)



ena北小金
(2026年2月開校)



ena川口
(2021年2月開校)



ena東川口
(2022年9月開校)



ena蕨
(2025年3月開校)



ena南流山
(2026年2月開校)



ena新松戸
(2026年3月開校)

2. 私立化

enaは2024年度に私立化宣言を行い、盤石の都立中高に加えて私立中高の受験指導強化も推進。**最難関私国立中受験専門塾「極」の開校、私立中高受験対応コース全校設置**などを遂行した。

更には、**私立も都立も合格を目指せるテキスト「EXE」の開発、私立4科型合格判定模試「私立中合判」**を開始した。

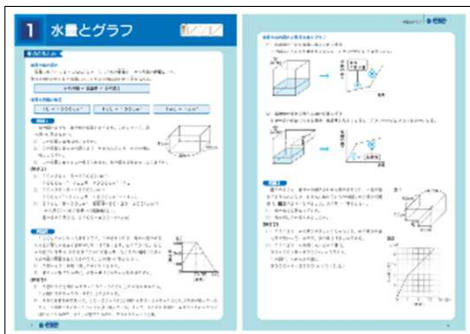
最難関私国立中受験専門塾「極」



私立中高受験対応コース全校設置



オリジナルテキスト「EXE」



私立4科型合格判定模試「私立中合判」



3. パンフレット&HP・校舎外装の一新

千葉県・埼玉県へ複数校舎を開校、また私立化など、enaはその新たな進化の象徴として**ホームページやパンフレット、校舎外装デザイン**の大幅リニューアルを行った。

パンフレット&HP



校舎外装デザイン



4. ネット授業参観の開始

2024年5月よりena全校でネット授業参観を実施。**安心・安全に通塾いただけるように、保護者様のご自宅にしながら教室の様子を確認できる環境を完備。**enaの授業は「発言は挙手の後のみ」が徹底され、楽しく活発な授業ながらも私語のない適切な空間を実現。ネット授業参観の設備を生かした社内の授業点検も実施され、授業の質を常に改善している。

ネット授業参観

ena 小中学部全校舎・全教室でお子様が受講する授業の様子を保護者様がいつでも確認できます。



ネット授業参観は、**ena** 本科生のみ視聴いただけます。

5. 超長期合宿の実施

2025年度の夏期講習では、従来の5泊6日が最長であった合宿を10泊11日へ変更し、さらに22泊23日の長期合宿を新設。続く冬期では、13泊14日の長期合宿を実施し、想定数を大きく上回る生徒が参加した。



6. 株主・投資家との対話実施

株主様や投資家の皆様との対話を積極的に行うため、**決算説明会を年2回、個別面談を随時実施**する。

決算説明会

- 実施予定 : 年2回（第2四半期決算・期末決算）
- 対象 : 機関投資家・アナリスト
- 対応者 : 取締役兼代表執行役社長・取締役兼常務執行役管理本部長・執行役管理本部副本部長

個別面談

- 実施予定 : 随時
- 対象 : 機関投資家
- 対応者 : 取締役兼代表執行役社長・執行役管理本部副本部長兼財務部長

7. IR活動の拡充に向けて

- ・決算説明会のオンデマンド配信 ⇒ 情報提供範囲の拡大
- ・IRサイトのリニューアルと情報充実 ⇒ 当社への理解促進
- ・個別ミーティングや1on1形式の投資家対応を強化 ⇒ 投資家のニーズや懸念を直接把握

本資料に掲載されている株式会社学究社の現在の計画、見通し、戦略等のうち、過去の事実でないものは、将来に関する見通しであり、リスクや不確実な要因を含んでおります。

これらの情報は、現在入手可能な情報から株式会社学究社の経営者の判断に基づいて作成されております。

実際の業績は、さまざまな重要な要素により、業績見通しとは大きく異なる結果となりうるため、業績見通しのみで全面的に依拠されることは控えるようお願いいたします。

また、本資料は、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断において行われるようお願い申し上げます。

IRお問い合わせ

管理本部 IR担当

TEL : 03-6300-5311

E-mail : ir@ena.co.jp

 学究社

 eina